

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【299】
2. 日時：令和4年10月24日 13時30分～16時50分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与※

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他4名

電源事業本部 原子力設備グループ 担当 他2名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当 他1名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当 他1名※

5. 要旨

- (1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（サプレッションチェンバの耐震性についての計算書等）について、令和4年10月18日の提出資料に基づき説明があった。

- (2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【サプレッションチェンバの耐震性について】

- 3次元はりモデルと3次元シェルモデルの振動モードの比較について、モデルの違いによる振動応答への影響を整理して説明すること。
- 3次元はりモデルの適用性確認用解析モデル（3次元シェルモデル）について、3次元はりモデルとの固有周期の比較とその考察を説明すること。また、サプレッションチェンバサポート取付部のばねの有無が、水平方向の固有周期に与える影響が小さい理由を説明すること。
- 3次元はりモデルの適用性確認で用いたサプレッションチェンバサポートのはりの剛性について、3次元FEMモデルから剛性を算出する具体的な方法について説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」(令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2)を踏まえ、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

なし